

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	合同会社グラスバレー	代表者	大場雄一郎	法人・事業所の特徴	「森の小さなよりどころ」を基本理念とし、ご利用者の暮らしのよりどころ・ご家族の心の拠り所・地域の方々の寄り所を目指しています。建物は以前酒屋を営んでいた家屋を改修し、家庭的な雰囲気となっています。通い、訪問、泊まりのサービスを臨機応変に組み合わせご利用者の暮らしを支えるサービスを提供しています。
事業所名	小規模多機能ホーム よろず庵	管理者	大場雄一郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	人	人	人	2人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	タブレット入力による電子記録導入後の入力方法やチェック体制などのマニュアルを作成しルール化する。	マニュアル作成までいかなかったが電子記録に慣れてきており、記録の充実を図ることができている。	しっかりと評価が出来ていると思う。職員間で出来ていると感じる人とそうでない人との差を埋めることが大切だと思う。研修もパートさんでも参加ができるような取り組みも必要だと思う。	新たな研修の形(e-ラーニングやDVD研修等)を模索し導入することで研修の受講率を上げていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	室温や明るさ、においなどの室内の環境に注意し居心地の良い空間を作る	猛暑の夏だったが意識的に室温管理をすることができた。全居室のエアコン入れ替えを行いより快適な空調となった。	病院の警備で働いているが病院や施設は独特のにおいがある。よろず庵は気にならないので居心地は良いのではないかと思う。	整理整頓を心がけ、環境因子によるヒヤリハットを予防する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方が立ち寄りことのできるイベントを開催する。	地域の祭典の際に駐車場を休憩場所として提供し多くの方に寄っていただいた。子供会との交流会は草ヶ谷公民館にて実施した。	施設の規模もあるのでなかなか招いてのイベントは大変だと思う。なんらかの形で地域との関わりを継続してほしい。	イベントだけでなく日常の利用の際に事業所周辺を散歩したり、外に出て過ごす時間を作ることで地域の方との交流を図る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者の行きつけだった商店やお気に入りの場所などを聞き出し、一緒に出向いてみる。	現在も継続して利用している馴染みの商店や美容室へ同行することはあった。	そこまでやるのかと思うがご利用者は嬉しいと思う。	ご利用者様の行きたい場所、やりたいことをひとつでも多く実践する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議のメンバーに公式 LINE を登録していただき、会議の案内等こまめに連絡をすることで、参加率を増やすとともに会議以外の情報提供ができるようにしたい。	公式 LINE への登録促しができなかった。会議への参加は都合のつく限り参加いただき様々な意見をいただくことができた。	LINE 登録のアナウンスがなかった。もっと有効に活用してほしい。	草ヶ谷地区以外の民生委員さんに参加を依頼しメンバーとなっていた。
F. 事業所の防災・災害対策	草ヶ谷地区の防災委員さんへアプローチをし、連携についての意見交換を行う。	地区の防災訓練への職員の参加はできたが、防災委員さんへのアプローチができなかった。	防災委員長の方は知識もあり大変意欲的なのでぜひアプローチをして連携したら良いと思う。	草ヶ谷地区の防災委員さんへアプローチをし、連携についての意見交換を行う。